

山形県の古木・名木 No.53

山の神のケヤキ (やまのかみのけやき)

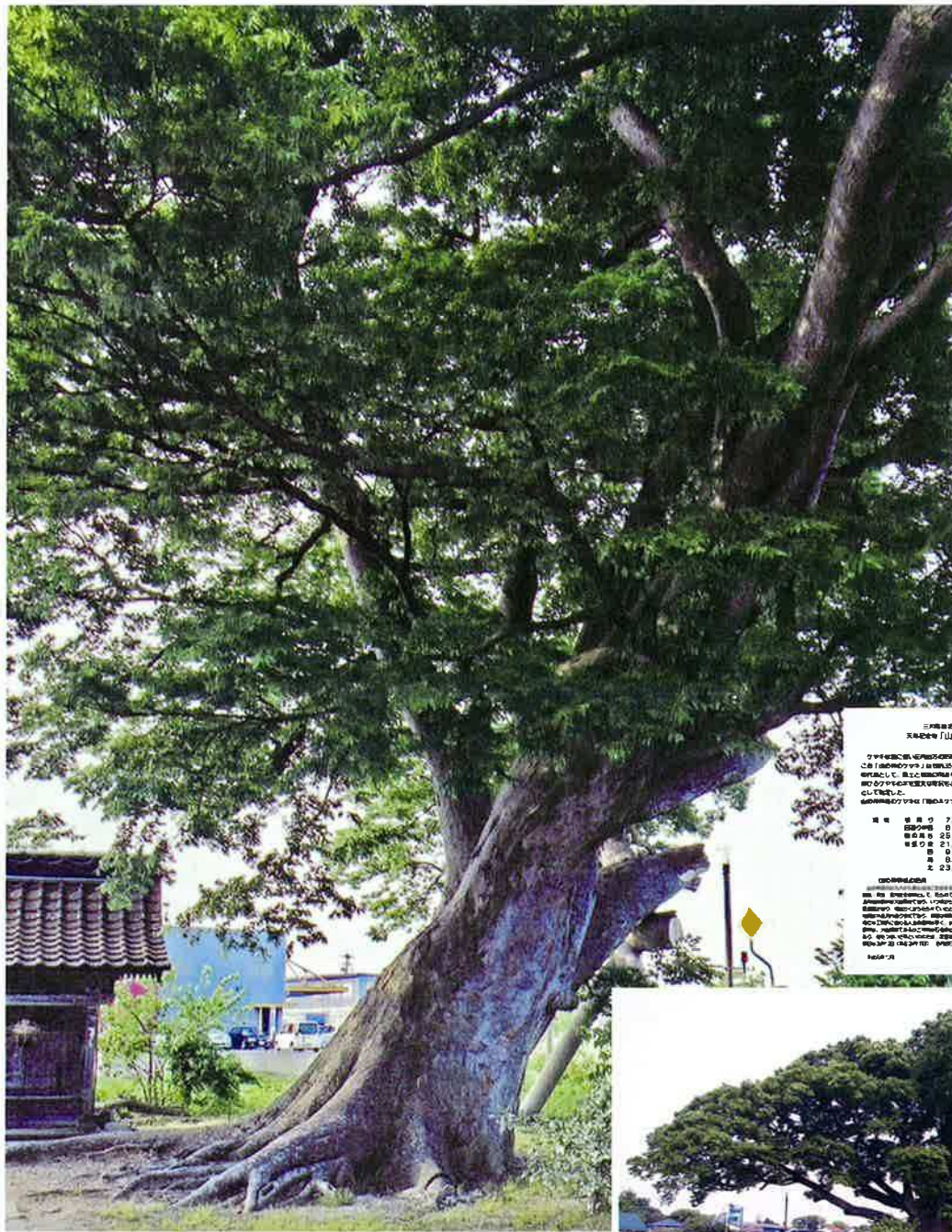
東田川郡三川町押切新田前川原247 山の神神社

山の神神社のケヤキは、「町の木ケヤキ」として町民から親しまれており、昭和49年3月31日、町指定天然記念物に指定されている。

ケヤキは、風に強い庄内地方の防風林として古くから利用され、親しまれてきた。この「山の神のケヤキ」は、樹齢三百五十～四百年といわれ、根回り7.05m、目通り幹囲6.4m、樹高25mで、枝張りは北側が最大で23.7mである。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



三川町指定天然記念物(昭和49年3月31日指定) 天然記念物「山の神のケヤキ」(樹齢350年)

ケヤキ科のケヤキ属に属する防風林として古くから利用され、親しまれてきた。この「山の神のケヤキ」は、樹齢350～400年といわれ、樹高25mで、根回り7.05m、目通り幹囲6.4m、枝張りは北側が最大で23.7mである。このケヤキは、風に強い庄内地方の防風林として古くから利用され、親しまれてきた。この「山の神のケヤキ」は、樹齢350～400年といわれ、樹高25mで、根回り7.05m、目通り幹囲6.4m、枝張りは北側が最大で23.7mである。

樹高 25.0m
 根回り 7.05m
 目通り幹囲 6.4m
 枝張り(北側) 23.7m

三川町森林協会 調査員

【森林やまがた77号(2003年8月)記載】

